

# Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中田耕治 編集責任者 畠山広幸 制作・編集 33期広報委員会 印刷所 東京印刷㈱

## 8月例会報告

平成19年8月17日(金) 19:00~ ホテルサンルート米子

連日35℃を超える猛暑日が続く中開かれた8月例会は、冒頭の中田会長の挨拶も『暑いなあ』で始まり、7月に行われた選挙について中央会としては『選挙運動はあくまで個人の責任で行うべきもの』というスタンスでいきたいと述べられ、スタートした。

そして、勝田新入会員へのバッジ授与、「梨の花は春の雪」の宣伝のあと、委員長タイムでは我が広報委員会の石川委員長が芸大時代の話をされた。女性が多く楽しい学生時代を過ごした話から、ヌードデッサン・目利きの話など男性会員の気を引きそうな話題をされたあと、デッサンをうまく描くポイントを述べられた。

講演では「鳥取から世界へチャレンジ」と題して、4名の講師の方に講演していただいた。まず鳥取県産業振興機構 海外支援部長 池内正彦氏は、鳥取県内の海外ビジネス支援体制について、『今日集まった講師達が連携しさまざまな相談に対応できる体制と相談窓口のワンストップ化(西部は夢みなとタワー内)を図り相談しやすい体制を構築している。また、海外チャレンジ支援補助金の制度もあるので、気軽に相談して欲しい』と述べられた。



池内 正彦氏  
財団法人鳥取県産業振興機構  
海外支援部長



清水 豊氏  
山陰合同銀行  
証券国際部副調査役



黒住 昭夫氏  
ジェットロ貿易相談デスク  
アドバイザー



坂本 光隆氏  
境港貿易振興会  
事務局長

山陰合同銀行証券国際部 副調査役 清水豊氏は、合銀海外業務サポートについて体制や実例・中国大陸での現地情報・企業進出事例などの話を、また「アジアデスク」で各種貿易実務相談・対応を実施、案件によっては海外駐在員事務所への調査を依頼すると述べられた。

ジェットロ貿易相談デスク アドバイザー 黒住昭夫氏は、中国・台湾・ASEAN諸国とビジネスを行う上での注意点について、1. 進出目的の明確化、2. 取引先の選定、3. 信頼できるコンサルタントの確保、4. 通訳、5. 契約書の作成、6. 国民性の違いを基本的に認識することと述べられたが、ビジネスで成功する何よりの秘訣は自分を売り込むことだと熱く語られた。

最後に境港貿易振興会 事務局長 坂本光隆氏は、冒頭 境港についてアンケートを取られ、境港についてどんなイメージがあるか?というアンケート結果として境港は1. 漁業 2. 妖怪 3. 貿易のまちとなった。また境港を「さかいみなと」と読むときは地名、「さかいこう」と読むときは港のときという雑学から始まり、定期コンテナ航路の意義や境港の貿易状況、日本の中の境港、世界の中の境港などについて述べられた。

海外という遠いようだが、アジア特に韓国などは東京より近い。中国では来年北京オリンピックが開催され、2010年には上海万博も予定されている。環境問題が最近話題にはなっているが、それでもマーケットとしては巨大であることに変わりはない。近くても遠い海外だが、我々もグローバル化の波に乗って海外までビジネスチャンスを広げる時期がきているのかもしれないと感じた。

記事：朝原

## 委員会運営ならびに書記・会計説明会

平成19年8月22日(水) 19:00~ 米子食品会館

33期がスタートして二ヶ月、各委員会とも忙しく動き出した。委員会の運営上必要な注意点、書記・会計の職務を理解し、円滑な委員会運営に役立てるという目的で説明会が開かれた。委員会・例会の運営について後藤副会長が「一年間は長いようで短い。年間計画を立て羅針盤とし、絶えず微調整を図りましょう。」など経験談を交えて話された。続いて30期人づくり委員会で制作された、ロバート議事法を題材にしたDVDを鑑賞した。面白おかしくしてある所もあったが委員会におけるルールがそのDVDに集約されていたとおもう。書記については石川委員長より説明があり、委員会で話し合った内容、行った行動を詳しく

載せるということであったが、他の委員会や役員も目にするものであれば、より詳しく仕上げる事が書記担当者にとって重要な役目である。早く正確に提出する事も大切とのことであった。会計について、中村会計理事より説明があった。委員会費が委員会もしくは会員に対して有効に使われているか把握する為。今期は委員会出席率とは関係なく委員会費が振り込まれる為、より有効に使っていただきたい。委員会の大切なお金を預かる会計担当者は支出について明確に記録を残して説明できるようにしておく事が必要である。との説明があった。 記事：安岡



## 委員会活動 会員力委員会



第33期の委員会がスタートしてから早くも2ヶ月余り。なかなか濃いメンバーが揃う「会員力委員会」の様子をご紹介します。メンバーは山本徹委員長以下11名で、うち7名もの役員経験者(県会長・副会長・委員長)が在籍しています。繰り返しますが、かなり濃いです。

まず「会員力」と聞いたとき、「何をやる委員会だろう?」と誰しもが疑問に思うことでしょう。事実、私たちもそうでしたが、実際にやるべきことはかなり多くあります。

①会員拡大会議の主催(年間目標22名以上

- …役員会6名以上、各委員会2名以上)
- ②担当例会2回(9月例会・4月レクリエーション例会)
- ③新入会員オリエンテーションの開催(年2回)

上記の内容だけでも年間活動の70%くらいでしょうか。決まっている事業活動に追いつけられそうになりますが、山本委員長の「何事も段取り9割!!」という言葉どおり、スピード感をもって活動しています。

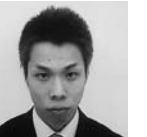
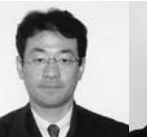
間近に迫った9月担当例会ですが、当委員会の基本テーマ「会員相互の交流を促進し、会員企業の業務内容の認識度を拡張する」に基づいた例会を目指しています。「会員企業アピール例会」と題して自社アピールの場を提供し、「会員の顔と名前・自社の業務内容・会員に対するメリット」等を積極的に宣伝していただくことによって、会員企業間の交流

がより深まり、異業種間のコラボレーションが促進されれば幸いであると考えています。今までになかった企業アピール例会です。会員の皆さんが積極的に登壇されることを期待しています。

「会員拡大」に関しては、上半期である程度の目途をつけていきたいとおもいます。スタートダッシュに成功すれば、結果は自ずとついてくるでしょう。全会員が本気になれば、不可能な数字ではないと考えます。皆さんが本気になれるような「しかけ」が重要であるとおもっています。

積極的な行動は青年中央会の最も基本的な部分であり、我々の委員会は「今までになかったこと、やりたいとおもうこと」とことん楽しみながらやっていきたいとおもっています。

記事:岩田(会員力委員会)



## OB訪問

### 31期卒会 田中英治OB

今回より装いも新たにスタートするOB訪問のコーナー。第1回目は中田会長のご紹介で(有)サンクリーンの31期卒会 田中英治OBに中央会の思い出などをうかがいました。



#### ご入会のきっかけは?

社長(松岡晃OB)の卒会をきっかけに入会を勧められました。社長が中央会で忙しくしているのを見て、半分イヤイヤだったのですが(笑)、会社命令ということで入会させられました。

#### 最初の印象はいかがでしたか?

企業経営者がズラリ揃って、すごい会だなとおもいました。経済団体というイメージが強かったのですが、自分と同じく車好き・酒好きの方が大勢おられて、自然と仲間ができました。

#### 入会してよかったことを教えてください

仕事の面で取引先が増えたことはもちろんですが、会を離れてもプライベートで付合えるよい友達ができたとです。本当に会社の為にも、何より自分の為にもなりましたね。

#### 一番の思い出に残っていることは何ですか?

思い出は多過ぎて・・・。敢えて一つ挙げるなら、松本啓OB(第22期会長、第23期卒会)の卒会の打ち上げで、同OBが紋付袴姿で登場され、「仁義の盃」を一人一人にいただいたことですね。兄弟固めの盃を酌み交わしたのですが、この杯は思い出の品として、今でも大事にしています。

#### ところで田中OBは会員拡大にも大きな功労があったとうかがっていますが、どのように実践されたのですか?

これもいろいろですが、企業協会の会合をきっかけにして数名の入会があります。なかでも、会合で一緒になった社長の息子さんが入会し、しばらくしてその社長にお会いしたとき『息子がすっかり遅くなった』と感謝されたときは嬉しかったですね。

#### 最後に現役会員へのメッセージをお願いします

もっと厳しさを持ってやってもらいたいと思います。最近の話を聞いていると、よく言えばフレンドリーな会になっているということですが、伝統の厳しさがなくなっているのではとされています。上下関係も曖昧になっているのではとおもいます。中央会では入会の早い人が先輩です。そのけじめはしっかりつけるべきとおもいます。

自分も現役当時怖くて苦手な先輩がいましたが、避けることなく正面からぶつかり、それが自分の成長につながったと思います。厳しさを通じ人間として成長できるのも中央会の魅力ではないでしょうか。

最後に、サンクリーンから松岡社長・自分に続いて3代目となる勝田賢一郎が入会しました。皆さんしっかり教育してやってください。

田中OBにはご多忙にも関わらず、取材を快く引き受けていただきありがとうございます。往時の思い出を本当に楽しそうに語っておられるのが印象的でした。記事:山口(啓)

## Creative&Action

### 「米子信用金庫の社会貢献(CSR)活動」について 板垣 慶太

私が勤務している米子信用金庫では、地域社会の一員として地域の経済・文化・教育などの分野において様々な地域に貢献する活動を続けておりますが、昨今は企業の社会的責任がいっそう重視されるようになりました。そこで今年度は「まちづくり」をメインテーマと位置づけ、積極的に社会貢献(CSR)活動を展開する方針を打ち出しておりますので、この場を借りて一部紹介させていただきます。

#### 【まちづくりへの新たな取組】

- ①まちづくりに関する連携協定→まちづくりの組織力強化に向けて、行政機関(米子市)・教育機関(米子高専・米子松蔭高)と連携協定を締結しました。
- ②「米子まちづくり連絡会」の開催→まちづくり情報力強化に向けて、行政・教育・商工団体・指導各機関などと年5回の情報交換会を実施し、お客様の生の声を伝え、直面する問題解決の場となることを目指します。
- ③「商店街創業相談窓口」の設置→商店街の活性化及び創業支援の具体的な施策として、事業計画の作成指導・創業資金の調達相談・公的機関支援メニュー紹介・ビジネスマッチング・出店情報提供などの相談業務を行う窓口を設置しました。
- ④「KIHACHI OKAMOTOプロジェクト」の支援→産・学・官・金の連携による地域活性化に向けて、街づくりに関する住民活動への支援を実施します。
- ⑤「中海アダプトプログラム」への参加→環境保全活動の一環として、地域の環境浄化に関する住民活動へ参加します。

以上、地域の活性化は地域金融機関の使命でもあり、情熱・郷土愛をテーマに地域振興支援に取り組みで参りたいとおもいます。



# 中央会アーカイブス

## 『伝説の委員会』～楽しくなければ委員会じゃない～

かつてメンバーの自発的な委員会出席率が限りなく100%に近く、その委員会へのトレードを会長に直訴し、移籍が叶わぬなら委員会に出席したいと、他の会員に言わしめた伝説の委員会があった。

90年代後半「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等女子労働者の福祉に関する法律」(後の「男女雇用機会均等法」:略称)が大幅に改正、内容強化されるのを受けて、経営者としての対応を考察する委員会ができた。

時の委員長は考えた。『女性の職場環境をヒアリングすることから始めよう』と。副委員長に特命が下った。『働く女性を講師として呼ぶぞ。色々な意見が聞きたいから出来るだけ多く集めてくれ』。副委員長は武者震いが止まらなかったという。

かくして、銀行・デパート・病院・放送局等、働く女性を委員会に招聘するため副委員長は奔走した。「とんでもない委員会になる」と副委員長は直感したという。講師として招かれた女性達は口々に職場の不平不満を言い、殆んどの場合が時間内に終わらず、二次会の席でも職場での本音が語られたという。

この噂はすぐに広まった。中には「毎回合コンしているらしい」「ナイフとフォークに箸まで持参しての臨戦体勢だそうだ」などと何の比喩だか理解に苦しむ表現をする者もいたという。当時を振り返り副委員長は『まあ確かに合コン気分があったことは間違いない。据え膳食わぬは武士の恥じなどという不謹慎発言もあった。でも毎回違う職場環境の女子達を集めるのはとても苦労した』。そう話す彼の口元が思い出し笑いをすると噂が真実味を帯びて来る。

都合10回を数えた委員会は垂涎の渦の中、ヒアリングばかりが行われフィナーレを迎える。

島根県某所で行われた打ち上げにコンパニオンなど必要なかった。一年間かけて作り上げた働く女性のネットワークを駆使し最後まで委員会を堪能したという。

この伝説の委員会一年間に異を唱える役員・会員もいたという。ここから学ぶべきは委員会をプロデュースする委員長は楽しく研鑽を重ねていくにはそれ相応の周りの批判への覚悟とアイデア、そして何より行動力を必要とされることではなからうか。

「悔しかったらやってみれば」、5時から男と呼ばれた当時の委員長の高笑いが聞こえてきそうである。

記事:中島

## 環境問題委員会 8月度臨時委員会

平成19年8月19日(日) 6:00～ 弓ヶ浜展望台



環境問題委員会は「西部の環境資源の活用・保全」を本年度のテーマのひとつとして掲げており、今回、弓ヶ浜の現状を感じてみることを目的にし「浜辺の清掃(ゴミ拾い)」に取り組みました。「環境問題」というものに対して正直なところ主体的に考えたことが今までなく、33期の委員会活動として自分に具体的に何ができるのか、すべきなのかをこの臨時委員会で少しでも感じてみようと思ってきました。

“ゴミを拾う”という目的で海岸に行くと、タバコの吸殻・花火の残り・ビールの空き缶などあまりのゴミの多さに愕然とします。人はなぜこんなにマナーが悪いのかと誰もが感じるとおもいます。逆に自分が若い頃、海岸で遊んでいたことを思い返すと「あのときゴミの後始末できてきちんとしていたかな?」と自然に反省します。海岸にゴミを残すのは

誰もが悪いことだということはわかっているのに、ゴミを残すことによって海岸・地域環境にどのような影響を及ぼしていくのか、また自分の生活が変化するわけではない、自分には関係ないので考えようと思わないのが現状なのではないかとおもいます。

「環境問題」に誰もが取り組まねばならない原点がここにあると自分なりに感じました。

臨時委員会には、お忙しいところ増井副会長にもご参加いただき感謝しております。また臨時委員会終了後、カフェド喜多川のプライベートビーチ?でバーベキューパーティーを行い懇親を深めました。

記事:内藤(環境問題委員会)

## 県青中の動き

第1回県青中役員会が平成19年8月22日(水)、対翠閣(鳥取市)に於いて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・県総会、懇親会報告の件
- ・県出向研修会(9月22、23日)の件
- ・親睦事業(10月28日)の件
- ・教育事業の件
- ・その他

詳細については県出向理事までご参照ください

## 中央会の思い出

湯原俊二会員



入会当時の  
湯原会員

私は28歳で中央会に入会し、当初の6～7年間はずっと総務委員会に配属になり、行事ごとに駐車場の番をさせていただきました。駐車場の番も会員の役目であり、皆で中央会を創っていく象徴のようにも見えます。今でも駐車場の番をしている若い会員を見る度に感謝をしつつ、自分の入会当初を思い出します。寺子屋で教わった初めてのもの、そして一番大切なものが「駐車場の番のおもい」かもしれません。感謝。

緑肥

## こだわりの逸品

今年の夏は例年以上に暑いことは間違いない。だからという訳ではないが、小生は無類のビール好きである。最近は発泡酒や第3のビールといったものもあるが、よく言うところの「取りあえずビール」ではなく、「ビールじゃなきゃ」なのである。

昨年度の卒会旅行で四国に行った際、嬉しいことに旅程にはビール工場の見学が設定されていた。工場到着後、ビールの工程ラインを一通り案内され、最後にはお待ちかねの試飲(やっぱりメインはこれ)が待っていた。最初はできたての生ビールを専属のガイドさんが注いでくれた(当日は工場が休業で、できたてといっても昨日のもの)。小ジョッキなので一気に飲み干す。乾杯に続いて今度は自分で注いでみる。ここでは製造していない黒生もちゃっかりとご馳走になる。

その際にビールとガラスの関係について教えていただいた。ガラスは油分が付着しないようにきれいに洗い流しておくのが良いそうだ。油分が残るとクリーミーな泡ができにくく、すぐに消えてしまうからだ。缶ビールといえども、グラスに注いで飲むべしとのこと。直に飲むのとグラスに注ぐのとでは、味わいが全然違うらしい。帰りのお土産コーナーでは、ご丁寧に専用洗剤とスポンジまで販売していた。

余談になるが、米子の某クラブではビアグラスの水滴は拭き取らず、自然乾燥させているようだ。皆さんもご家庭での晩酌の際、「こだわりのグラス」で是非お試しいただきたい。

記事：山口(英) (環境問題委員会)

## 8月度委員会報告

### 会員力委員会

平成19年8月7日(火)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/11名

議題/・9月担当例会について

タイムスケジュール、担当者確認

時間発表、発表者人数打ち合わせ、誘導方法等の確認

### 地域ビジョン委員会

平成19年8月6日(月)於:炉端かば 出席者/10名

議題/・商品企画・提案について

企画、提案された商品を試食し意見交換・課題点の論議

### 環境問題委員会

平成19年8月8日(水)於:ウエルネス イン ほうき路 出席者/11名

議題/・臨時委員会について

「勝手が浜・弓ヶ浜展望台のボランティア清掃」

集合 弓ヶ浜展望台 6:00

### ビジネス委員会

平成19年8月7日(火)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/12名

議題/・OB交流会について

10月担当例会内容検討

・その他 中央会HPの掲示板を活用し企業PR等の掲載を合意

### 魅力アクション委員会

平成19年8月8日(水)於:籠乃鳥 出席者/11名

議題/・7月5日(日)カプトムシ取り企画実施報告

佐摩近辺

・大山地鶏試食会及び大山地鶏説明会について

講師:村岡誠一OB、籠乃鳥 大山地店長

・次回以降の活動予定について

### 政治行政委員会

平成19年8月7日(火)於:宮崎カイロプラクティスオフィス 出席者/10名

議題/・商店街現状視察について

現在の商店街の状況視察・意見交換

・今後の委員会活動について

### 広報委員会

平成19年8月6日(月)於:レストランぶどうの木 出席者/13名

議題/・ハンサムについて 紙面割付、各担当分担

・文章校正講座について

講師:新日本海新聞社 川口 耕氏

演題:「記事作成の基本と留意すべき店について」

### 総務委員会

平成19年8月6日(月)於:米子食品会館旧館 出席者/10名

議題/・7月総会・懇親会の反省

・委員会運営並びに書記・会計説明会について

内容、担当役員、タイムスケジュール確認

・その他 入会金の会則等内規について

## 9月役員会報告

9月定例役員会が平成19年9月3日(月)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・8月例会の反省・報告の件
- ・委員会運営並びに書記・会計説明会報告の件
- ・9月例会開催の件 ・その他

※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

## 9月例会案内

と き:平成19年9月14日(金)

18:30~食事 19:00~開会

と ころ:ホテルサンルート米子

内 容:「会員企画アピール例会」

担 当:会員力委員会

## 編集後記

今日の環境問題が私たち一人一人の日常生活に起因していることは、既に周知の事とおもいます。環境の負荷に対する認識を深め、環境保全活動を実践していくことが、重要であることもメディアを通して伝えられています。

省エネ・資源の再利用・CO2の排出など、個人レベルでは小さな事ですが、その小さな事からコツコツと取り組むことが私たちの出来る環境配慮への第一歩ではないかとおもいます。ごく当たり前の事が、とても重要なのではないかとおもいます。

## 新規店舗オープン

高井会員の所属企業(有)松友の新規店舗情報です。

店舗名:申揚げと魚料理のお店

米子角ばん くし串

住 所:〒683-0812

鳥取県米子市角盤町1丁目1-2-3

米子やよいデパート横

電話番号:0859-21-3200



## お誕生おめでとう

高野裕介ちゃん

平成19年6月19日生まれ

高野真二会員の長男(第1子)

「すくすく元気に育ってね。」

